

実施報告書

令和 6年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実施報告書

区市町村名 多 摩 市

学校名 多摩市 立 南鶴牧小学校

1 事業目的 協議会名 南鶴牧小学校グリーンネットワーク委員会

オリンピック・パラリンピック教育レガシーアワード校として、南鶴牧小学校の学校2020レガシーであるボランティアマインドを醸成し、自助・共助の気運を高め、地域の教育力向上を目指るために、校庭芝生の維持管理や地域に愛される芝生化校庭を担う中心としての南鶴牧小グリーンネットワークのさらなる活性化を目指すとともに、子どもが体を動かす喜びを味わえる環境を整備していくことを目指す。

2 主な取組と成果

TOKYO2020レガシーへの取組として、地域・保護者・児童のボランティアマインドを醸成するために、校庭芝生の維持管理作業への協力依頼を本協議会ブログ、南鶴牧小学校の学校ホームページ等で広報をした。地域・保護者と連携した芝生維持管理作業は、4月から12月までに26回実施し、延1716名の地域・保護者・児童・学校職員の参加があった。今年度は、近隣保育園から園児や職員、本校敷地に併設された学童クラブの児童及び職員が参加し、より地域との連携が図られたと考える。昨年度より6回実施回数が増加(3割)したが、参加児童数はも延930名で8割増となっている。保護者・児童のボランティアマインド醸成の機会となっている。

芝生校庭の維持管理は、芝生維持管理団体である本協議会(南鶴牧小グリーンネットワーク)のリーダーシップの下、適切な管理を継続することができた。今年は学校行事の日程の都合上、例年と異なるサイクルで夏芝から冬柴への切り替えを行った。温かい時期に冬柴の発育が進み、運動会開催においては大変コンディションのよい状態となつたが、その後、急激に気温が冷え込むなど天候が安定せず、冬柴の発育に影響があった。柔らかい新芽の状態での校庭使用は芝生へのダメージがかなり大きかったことがわかった。

3 取組内容

1、芝生管理作業 実施日 3月中旬～12月上旬 毎週土曜日 各回1時間程度

対象者：南鶴牧小グリーンネットワーク委員会 南鶴牧小おやじの会 鶴牧SC 鶴牧ボイズ
南鶴牧小父母と教師の会 南鶴牧小教職員 南鶴牧小児童

主な活動：校庭芝生の芝刈り、雑草抜き等の管理作業

活動の成果：リーダーも作業する方も一部の方の負担が大きくなることを避けながら芝生維持管理作業を続けていくシステムをつくり上げている。
手押しの芝刈り機を多くの方で交代しながら作業する方式をとることで、協力する気持ちが高まり、共生・共助社会を形成していくことに一役買っている。(参加者：地域・保護者・児童・学校、延べ1795名)



2、芝生開放デー 実施日 8月24日(土) 10時～12時 児童等180名参加

対象者：南鶴牧小児童 近隣保育園幼稚園小学校の園児・児童

内容：本校おやじの会と南鶴牧小グリーンネットワーク委員会主催による芝生の校庭開放イベント
例年、ドッジボール大会と水遊び大会を行ってきた。今年度は6月初旬より夏日が続いたことから、水鉄砲や散水ホースや簡易スプリンクラーを用いて、本校児童だけでなく、地域の未就学児や保護者などが、水遊びを楽しんだ。

成果：本校児童だけでなく、地域の保育園児など未就学児も参加したことで、本校芝生の校庭への認識がより地域に広まった。

保護者が児童園児とともに水遊びを楽しめるように、

芝生管理作業とセットにして実施した。

通常より多くの保護者の参加があり、

作業後の汗を気持ちよく流すことで、

芝生イベントへの興味をもっていただけた。

本校おやじの会に参加する本校保護者が増加した。

猛暑日に2時間程度、水遊びをすることで、

潤沢な水量を芝生に散布できた。



4 今後について

コロナ禍により中断していた芝生事業がいくつかある。冬柴のオーバーシーディング時に種を児童が自分の植木鉢に植え、発育後校庭に移植する「マイ芝」、芝生の上で全校でお弁当を食べるい学年交流活動など、次年度よ徐々に再開していきたい。本校児童は自分たちの学校の芝生への愛着はあるが、その心を更に強くする取組を活性化することで、芝生管理作業への参加率を上げていきたい。本年はこれまで見ることのなかった、芝生を傷めたり芝生保護のためのきまりを守らない児童の姿が見られた。本校の芝生の校庭がどういった経緯で整備され、守られてきたかを改めて指導していく必要を感じる。

また、本年度は芝生Tシャツの販売を行った。大変好評で360枚ほどの購入があった。芝生管理作業時には児童も保護者もTシャツを着用し参加していた。今後も児童や保護者の声を聞きながら、定期的に販売を検討していきたい。